

令和4年度 日本大学自主創造プロジェクト

## 日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022015

## プロジェクト名 暑い夏を洗い流せ！防災チョークアート大作戦！

近年、防災に対する認知や関心が高まりつつある。そこで、子供達の身近にあるチョークを用いて「防災」と「アート」を掛け合わせた防災イベントを企画。使われなくなったチョークを使い、子供達と防災に関するテーマをもとに地面に絵を描く。描いた絵を消防のかたと消防ホースを用いて洗い流す。使われなくなったチョークを用いることで身近なものの再利用や環境問題について伝え、地域住民を巻き込んだ防災や消防について楽しく学べる機会を創出する。

私たちは習志野市消防署、習志野市消防団第5分団の協力のもと、2022年8月20日に生産工学部津田沼キャンパスにて当プロジェクトを実行した。当日の参加者は、子供は15人大人35人であった。実行するまでにあたり zoom を用いて会議を重ね、当日の段取りや小学校へのアポ取り等を行った。

初めに、当プロジェクトのキャラクターにもなる「防災ペンギン」を地面に描いた後にダストレスチョークを用いて、参加者と共に楽しく地面に絵を描いた。最初は広い敷地と慣れないチョークに戸惑っている子供たちも多かったが、終始笑顔夢中になって絵を描いていた。子供たちだけではなく、付き添いで来ていた保護者の方も一緒に絵を描き、大きな絵を完成させた。最後には描くスペースが足りなくなるくらいになっていた。

次に、習志野市消防団第5分団のかたより消防車のレクチャーを受けた。普段見ることのできない消防車の仕組みについて学ぶことができ、説明中はみんな真剣な眼差しで話を聞いており、興味津々で消防団のかたを質問攻めにしていた。実際に消防車に乗ったり、防火服を身につけたり、貴重な体験ができた。

次に、実際に消防の方が使用している消火器やホースを使って放水体験を行った。先ほどチョークで描いた絵を消防団のかたと共に消した。今回は水消火器を用いて放水体験を行ったが、意外と水消火器の減りが早いことが印象に残った。また、学生、保護者はホースを用いて放水体験を行った。何度も列に並んでみんな楽しそうにやっていた。

最後に、防災うちわを作成した。うちわの裏には災害ダイヤルの掛け方を記載し、表にはプロジェクトで学んだこと、夏休みの思い出、今日のワンシーン等各自描いた。

当プロジェクトを通じて、学部を超えた交流ができ、さらには子供たちや地域住民と共に楽しく防災について学ぶことができた。

